メキシコ工場
スペイン語指示コミュニケーションガイド

―現場トラブルを防ぐ管理者向け実務ガイド―
【無料サンプル】



Mexico Workplace Lab

https://mexicoworkplace.com

© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0

このガイドが必要な理由

― メキシコ工場における労務リスクの背景

自動翻訳や AI は有効な補助ツールですが、最終的に信頼関係を築くためには、管理者自身が短い一文でも自らの言葉で配慮を示すことが不可欠です。その積み重ねが、円滑な工場運営と不要なリスクの回避につながります。
近年、メキシコの製造業では労働環境に対する監視が強化されています。こうした背景から、現場での指示の出し方やコミュニケーションの取り方が、以前よりも重要になっています。
本誌の内容が、現場での無用な対立を減らし、結果として生産性の向上と安定した運営に寄与する一助となれば幸いです。

• USMCA Rapid Response Mechanism（RRM）
複数の製造拠点が対象となる事例が報告されています。

• コミュニケーションの問題が労務トラブルの要因になるケース
指示の出し方や職場での言い方がハラスメントと受け取られ、
労働組合との対立につながるケースも報告されています。

• STPS（メキシコ労働社会省）の労働検査の強化
職場環境やハラスメント防止体制に関する検査が拡大しています。

本誌の特徴

- **工場現場で発生しやすい失敗事例の分析**
  スペイン語による指示が原因で生じた典型的なコミュニケーション上の失敗事例を取り上げ、背景と改善の方向性を示します。

- **動詞活用に依存しないスペイン語の指示表現**
  動詞活用ミスによる誤解や心理的摩擦のリスクを抑え、現場で使える実用表現を記載しています。
- **指示強度レベルの段階整理**
  指示の強さをレベル別に整理し、状況に応じた適切な使い分けを解説しています。

© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0

よくある指示トラブルと改善フレーズ
※本編では、下記以外の事例も紹介しています

問題表現例、なぜ問題になるか、改善ポイント、改善フレーズ例の構成で紹介します。

失敗事例：威圧的に聞こえやすい繰り返し指摘表現

- **問題表現例**

  ¿Cuántas veces te lo tengo que decir?

  （何回言ったらわかるの？）
- **なぜ問題になるか**
  - 過去に繰り返し指摘した内容を再度注意する意図であっても、このような言い方は怒りや威圧的な印象として伝わりやすくなります。
  - メキシコの職場文化では、直接的な非難や感情的な表現は調和を乱し、相手のプライドを傷つけるものとして受け取られやすい傾向があります。
  - その結果、相手は内容よりも感情面に意識が向き、萎縮や防御的な反応につながることがあります。
  - その後の確認・相談・報告がしにくくなるケースも少なくありません。
- **改善ポイント**
  - 感情的な表現ではなく、行動や手順に焦点を当てます。
  - 個人の責任追及ではなく、業務ルールやプロセスの確認として伝えます。
  - 再発防止の視点から、中立的で建設的な表現に言い換えます。
- **改善フレーズ例**

  Es importante verificar este punto cada vez.

  （この点は毎回確認することが重要です。）

  Es importante ～ を使うことで個人への非難ではなく、業務上の重要事項として中立的に伝えることができます。cada vez（毎回） を加えることで行動基準を明確にし、感情的な注意ではなく業務ルールとして示すことができます。

  ・verificar（確認する、検証する）
  ・este punto（この点）
  ・cada vez（毎回）

© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0

失敗事例：理由が示されない禁止・命令形

- **問題表現例**

  No, no así. / Está mal.

  （いや、そうじゃない。/ それは間違っている。）

- **なぜ問題になるか**
  - 誤った作業をすぐに止める意図であっても、禁止や否定だけが先に出ると、相手は「なぜダメなのか」「どう直せばよいのか」が分からなくなります。
  - メキシコの職場文化では、直接的な否定や命令は冷たく威圧的に聞こえやすく、納得感が得られにくくなります。
  - その結果、同じミスが再発しやすくなったり、確認や質問がしにくくなったりして、信頼関係や協力姿勢が損なわれることがあります。
- **改善ポイント（通常時）**
  - 指示の焦点を個人の誤りではなく、手順に置いて伝えます。
  - Vamos a を使い、命令ではなく共同行動の形にします。
  - otra vez（もう一度） を加えることで、修正の機会として提示し、責任追及の印象を弱めます。

- **改善フレーズ例（通常時： Vamos a 型）**

  Vamos a revisar el procedimiento otra vez.

  （もう一度、手順を見直しましょう。）

  Vamos a ～ を使うことで、「個人の間違い」ではなく「一緒に確認する行動」として伝えることができます。

  ・otra vez（もう一度）

© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0

Key Points

現場でよくある３つの誤解

上記の失敗事例の多くは、「伝え方のニュアンス」によって生じています。
特に次の３つは、メキシコの職場で誤解が生まれやすいポイントです。

1．強い表現ほど指示が伝わるとは限らない

緊急時や問題発生時には、強い表現で指示を出したくなることがあります。
しかし、強い命令表現は相手に心理的な抵抗を生み、結果として協力を得にくくなる場合があります。
状況に応じて、本紙で紹介する指示の表現を使うことで、指示を伝えながらも協力関係を保ちやすくなります。

2．理由を説明すると理解されやすい

メキシコの職場では、「何をするか」だけでなく「なぜ必要なのか」を共有することが重要です。
特に、強い指示表現を使う場合は、理由を明確に示すことで、納得感が高まりやすくなります。

3．個人ではなく問題に焦点を当てる

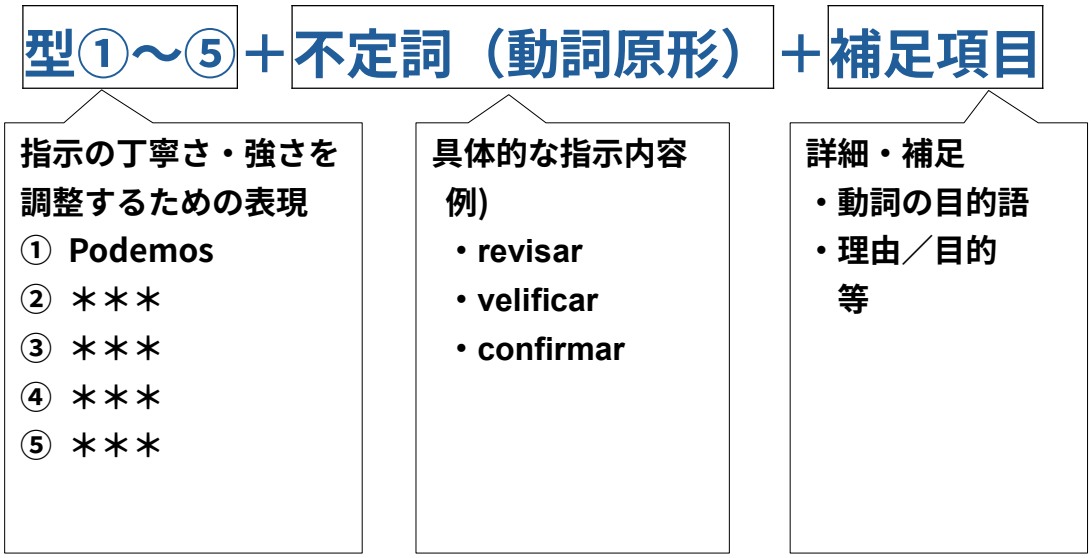
問題が発生した際に個人の責任を強く問うと、現地スタッフは状況説明よりも自己防衛を優先することがあります。
そのため、原因確認や改善の話し合いでは、個人ではなく 問題そのもの に焦点を当ててコミュニケーションを進めることが重要です。

© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0

スペイン語指示表現の基本構成

基本構成　型①〜⑤

そこで本誌では、**後ろに続く動詞を活用させる必要がない５つの表現（下記①〜⑤）**を中心に紹介します。つまり、動詞を原形（不定詞）のまま使える表現です。
この基本構成によって、動詞を活用しなくてもさまざまな指示を自然に表現できるようになります。動詞や名詞を入れ替えるだけで、様々な指示文を組み立てることが可能です。



① **Podemos**　　〜しませんか？／〜してもいいですか？
② ＊＊＊
③ ＊＊＊
④ ＊＊＊
⑤ ＊＊＊

「＊＊＊」の箇所は本編では記載されています。

Key Points

- 指示は **型①〜⑤ ＋ 不定詞 ＋ 補足** の構造で簡単に作ることができます。
- 型①〜⑤は **指示の丁寧さや強さを調整する役割**を持っています。
- 動詞は **原形（不定詞）のまま使えるため、活用を覚えなくても実務で使いやすい**のが特徴です。

© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0

指示表現の強度レベルと使い分け

下記は、①〜⑤の表現を用いた指示の強度レベルと主な使用場面を整理したものです。

表 2.　指示表現の強度レベルと使い分け

No.	指示の 強度レベル	型	ニュアンス	使用場面例
① ★	弱い	**Podemos**	提案・確認	作業確認
② ★	弱〜中	＊＊＊	協働・共同決定	作業開始
③ ★	中	＊＊＊	重要性説明	注意喚起
④	強め	＊＊＊	業務上の必要・要求	納期対応・課題対応
⑤	強い	＊＊＊	義務・必須	規則・安全

※まずは①②③の表現を使ってみてください。この 3 つだけでも、さまざまな場面の指示に対応できます。それぞれ指示の強さが異なるため、状況に応じて使い分けることで、コミュニケーション上の摩擦や誤解のリスクを減らすことができます。
④ (＊＊＊) ・ ⑤ (＊＊＊) は、業務上の必要性が明確な場合に使用される表現です。
特にこれらは比較的強い表現のため、目的や理由（＊＊＊）を添えて使うと、現地スタッフに納得されやすく、協力姿勢を保ちやすくなります。
通常は①〜③の柔らかい表現を優先することで、現地スタッフの主体性や協力度を維持しやすくなります。

Key Points

- 指示表現には強さの段階があります。
- 通常は **Podemos** / ＊＊＊ / ＊＊＊ を優先します。
- 比較的強い指示表現（＊＊＊/＊＊＊）は指示の必要性が高い場合に使うと納得されやすくなります。

© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0

実践編：型①〜⑤の活用

指示表現の基本構成の使用例
各①〜⑤の例文と使用場面を示します。
※本編では、さらに②〜⑤の内容についても詳しく解説しています。

この基本構成を使うことで、さまざまな指示を簡潔に作ることができます。

型①〜⑤＋不定詞（動詞原形）＋補足項目

①Podemos＋ 不定詞（動詞原形）

意味	～しませんか？／～してもいいですか？
使用場面	軽い依頼・提案・合意形成 「～できますよね？」「～しませんか？」という柔らかい表現。
例	**¿Podemos confirmar el plan?** （計画を確認しませんか？） **型 Podemos ＋ 動詞原形 confirmar ＋補足 el plan** Podemos～しませんか confirmar 確認する el plan 計画
注記	※相手の自主性を尊重する形のため、現地スタッフの協力を引き出しやすい表現です。

© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0

型①〜⑤の追加例文

以下に、型①〜⑤の追加例文を示します。いずれも現場でそのまま活用できる表現です。

※本編では、さらに②〜⑤の内容についても詳しく解説しています。

①¿Podemos + 不定詞?（〜しませんか？）

1. 作業前の安全確認提案

¿Podemos revisar la máquina para evitar problemas?

（問題を防ぐために、機械を確認しませんか？）

revisar	確認する
máquina	機械
evitar	防ぐ
problema	問題

2. 方法改善の相談

¿Podemos cambiar el método para mejorar la calidad?

（品質向上のために、方法を変えませんか？）

cambiar	変える
método	方法
mejorar	改善する
calidad	品質

3. 計画確認の事前調整

¿Podemos hablar con el supervisor para confirmar el plan?

（計画を確認するために、監督者と話しませんか？）

hablar	話す
supervisor	監督者
confirmar	確認する
plan	計画

© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0

無料サンプルのご紹介は以上です。

続きが気になる方や、詳細を知りたい方は、下記 URL よりホームページを

チェックしてみてください！

Mexico Workplace Lab

https://mexicoworkplace.com



© 2026 MexicoWorkPlaceLab All Rights Reserved. 無断複製・転載・配布・改変を禁止します。Ver1.0